

公益財団法人日本対がん協会

活動のご案内

2020-2021



がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい



日本対がん協会は1958年の設立から60年以上にわたり、がん征圧を目標に
予防・検診の推進、患者・家族の支援、正しい知識の普及啓発に取り組んでまいりました。
これもひとえに日頃から協会を支えてくださる皆さまのおかげです。心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行が続く現在、協会が運営する無料の電話相談
「がん相談ホットライン」には、多くのがん患者さんやご家族から不安の声や相談が寄せられています。
協会では感染予防策や注意点をまとめ、相談があった方にアドバイスしたり、専門医の解説を
ホームページにアップしたりしています。今後もできる限りの支援を講じていく所存です。

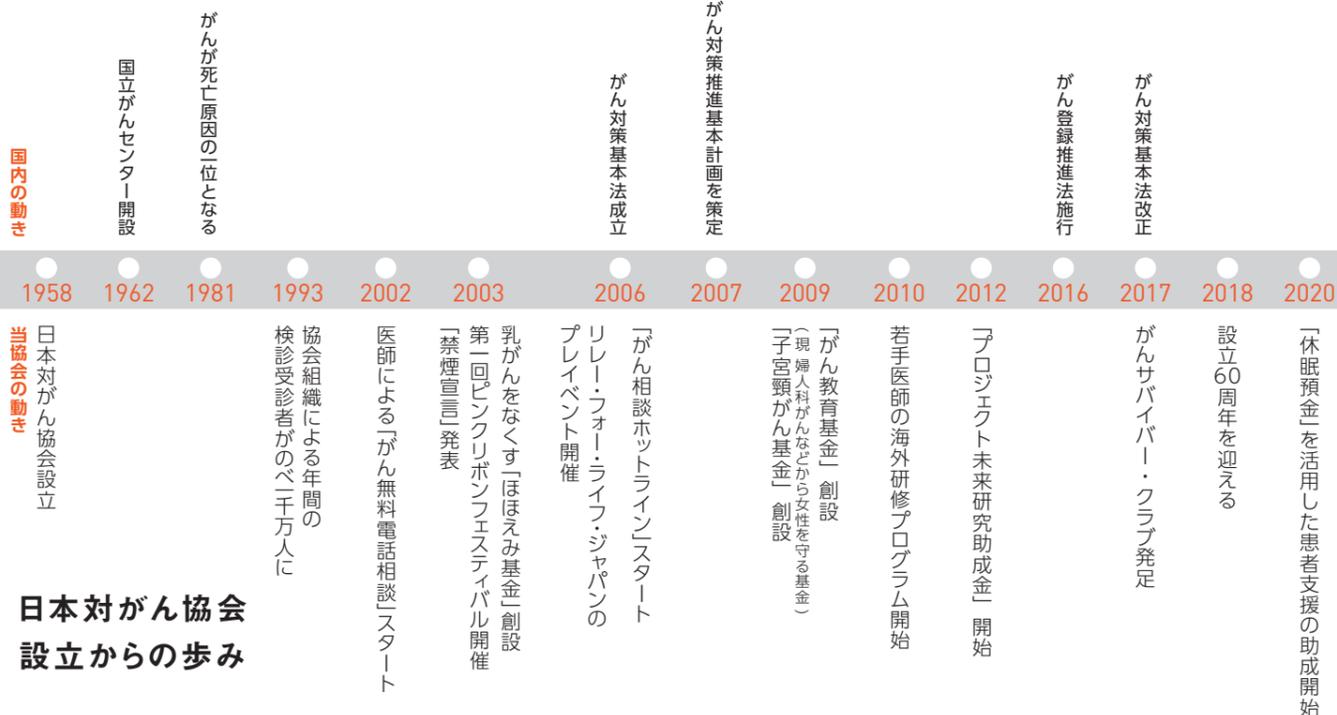
生存率が向上し、「がんは治る時代」と言われるようになってきました。
しかし、いまだに「不治の病」というイメージをもっている方も多いでしょう。
自分がん患者であることを周りに伝えられない人もたくさんいます。
そうした方々に生きる勇気と希望を持っていただき、「がん＝死」というイメージを変えていくことも、
私たちの活動の大きな柱です。2020年からは「休眠預金」を活用した
患者支援活動への助成も始めました。

医療の進歩により、がんを超早期に発見し、適切な治療を行うことができる時代も、
そこまで来ています。がんは長く付き合う病気へと変化しています。
それに伴い、治療と就労の両立、がん経験者の生活の質(QOL)の向上などの
新たな課題が浮上しています。禁煙の重要性もますます高まっています。

時代の変化に対応しながら、がんで苦しむ人、悲しむ人をなくすために
日本対がん協会はこれからも全力を尽くします。
引き続きあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本対がん協会 会長

恒添 忠生



がんで苦しむ人や 悲しむ人をなくしたい。

日本対がん協会は、1958年から、
民間の立場でがん対策に取り組んできました。
幅広い活動を通じて、すべての人が手を携え、
がんになっても希望を持って暮らせる社会を築きます。

がん予防・検診の推進

科学的根拠にもとづき、がん予防として特に禁煙を推進し、
検診の受診率及び精度の向上に取り組んでいます。

〈予防〉

- ・禁煙活動、禁煙教育

〈検診の推進〉

- ・受診率向上の取り組み
- ・新たな検診手法の研究

私たちは
大きく3つの活動を
行っています。

患者・家族の支援

がんと向き合う人が安心して暮らせる
社会づくりに取り組んでいます。

〈支える・寄り添う〉

- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン
- ・がんサバイバー・クラブ
- ・無料がん相談
- ・ピアサポート活動

正しい知識の普及啓発

情報社会の中で、正しい知識を広めるために
普及啓発活動を行っています。

〈啓発〉

- ・ピンクリボンフェスティバル
- ・がん教育

〈関心を高める〉

- ・がん征圧全国大会
- ・がん征圧スローガン

〈医療の発展〉

- ・若手がん専門医の育成
- ・がん医療に関する研究の助成
- ・がん医療に携わる医療従事者向け研修

1981年以来、がんはずっと、日本における死亡原因の1位です。

2018年のがん死亡者数は37万3584人(男性21万8625人、女性15万4959人)。*1

人口の高齢化が主な要因となって、がんで亡くなる方は増えつづけています。

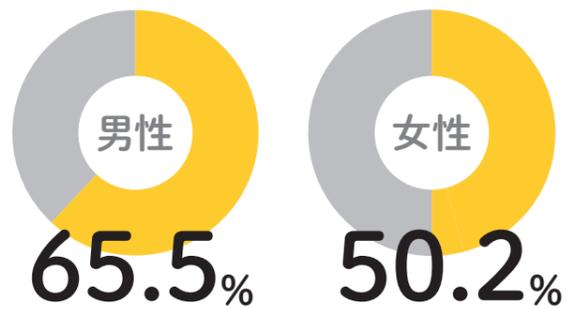
また、がんと診断される人も、1年に約100万人のペースで増加しています。*2

*1 2018年人口動態統計(確定数) *2 厚生労働省「全国がん罹患数」2017年

生涯にがんを患うのは
2人に1人

[生涯でがんに罹患する確率]

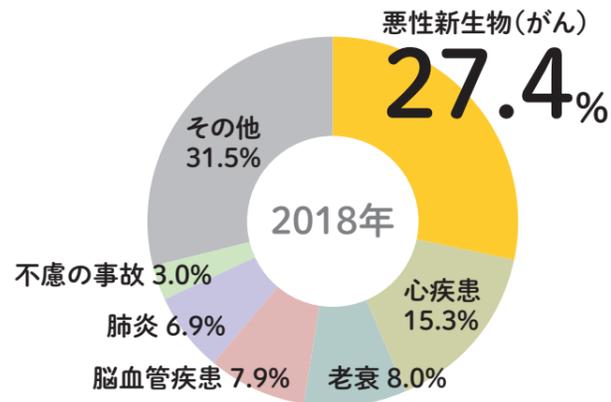
出典:国立がん研究センター がん対策情報センターによる推計値(2017年)



がんが原因で亡くなる人は
約3割 (年間)

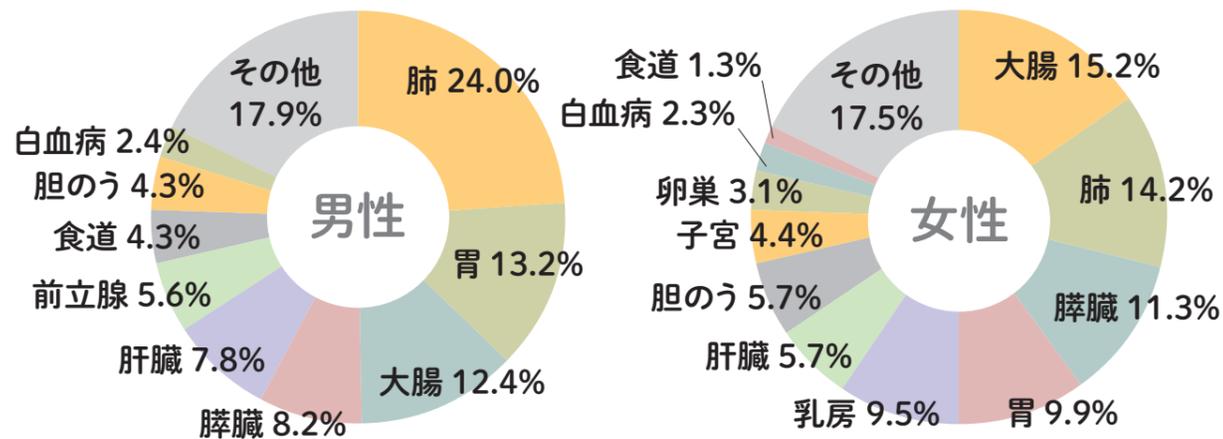
[全死亡者に対するがん死亡者数の割合]

出典:2018年人口動態統計(確定数)より



[主な部位別のがん死亡者]

出典:2018年人口動態統計(確定数)より

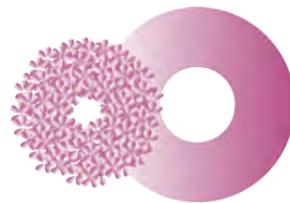


	住所	電話番号	FAX
(公財)北海道対がん協会	〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1-15	011-748-5511	011-748-5512
(公財)青森県総合健診センター	〒030-0962 青森市佃2丁目19-12	017-741-2336	017-741-2386
(公財)岩手県対がん協会	〒020-0834 盛岡市永井14-46	019-637-2966	019-637-2958
(公財)宮城県対がん協会	〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7-30	022-263-1525	022-263-1548
(公財)秋田県総合保健事業団	〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6	018-831-2011	018-831-1663
(公財)やまがた健康推進機構	〒990-9581 山形市蔵王成沢字向久保田2220番地	023-688-8333	023-688-3734
(公財)福島県保健衛生協会	〒960-8550 福島市方木田字水戸内19-6	024-546-0391	024-546-2058
(公財)茨城県総合健診協会	〒310-8501 水戸市笠原町489-5	029-241-0011	029-241-0332
(公財)栃木県保健衛生事業団	〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森3F	028-623-8181	028-623-8586
(公財)群馬県健康づくり財団	〒371-0005 前橋市堀之下町16-1	027-269-7811	027-269-8928
(公財)埼玉県健康づくり事業団	〒355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410-1	0493-81-6024	0493-81-6747
(公財)ちば県民保健予防財団	〒261-0002 千葉市美浜区新港32番地14	043-246-0350	043-246-8640
(公財)かながわ健康財団 がん対策推進本部	〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館内	045-243-6933	045-243-2019
(公財)新潟県健康づくり財団	〒951-8124 新潟市中央区医学町通二番町13	025-224-6161	025-224-6165
(公財)山梨県健康管理事業団	〒400-0034 甲府市宝1丁目4-16	055-225-2800	055-225-2809
(公財)長野県健康づくり事業団	〒381-2298 長野市稲里町田牧206-1	026-286-6400	026-286-6412
(公財)富山県健康づくり財団 [富山県健康増進センター]	〒939-8555 富山市越川1373	076-429-7575	076-429-7146
(公財)石川県成人病予防センター	〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地	076-237-6262	076-238-9207
(公財)福井県健康管理協会	〒910-3616 福井市真栗町47-48	0776-98-8000	0776-98-3502
(公財)岐阜県教育文化財団	〒502-0841 岐阜市学園町3丁目42番地 ぎふ清流文化プラザ1F	058-233-5810	058-233-5811
静岡県対がん協会	〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3丁目6-3 静岡県医師会館内	054-245-5655	054-245-5655
(公財)愛知県健康づくり振興事業団総合健康センター	〒470-1101 愛知県豊明市沓掛町石畑142-20	0562-92-9011	0562-92-9013
(公財)三重県健康管理事業センター	〒514-0062 津市観音寺町字東浦446-30	059-228-4502	059-223-1611
(公財)滋賀県健康づくり財団	〒520-0834 大津市御殿浜6番28号	077-536-5210	077-536-5211
(一財)京都予防医学センター	〒604-8491 京都市中京区西ノ京左馬寮町28	075-811-9131	075-811-9138
(公財)大阪対がん協会	〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69 大阪国際がんセンター 患者交流棟2F	06-7777-3565	06-6585-0353
(公財)兵庫県健康財団	〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-12	078-579-1300	078-579-1400
(一財)奈良県健康づくり財団	〒636-0302 奈良県磯城郡田原本町宮古404-7 県健康づくりセンター内	0744-32-0230	0744-32-8664
(公財)和歌山県民総合健診センター	〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ヒップ愛5F	073-435-5206	073-435-5208
(公財)鳥取県保健事業団	〒680-0845 鳥取市富安2丁目94番4	0857-23-4841	0857-23-4892
(公財)島根県環境保健公社	〒690-0012 松江市古志原1丁目4-6	0852-24-0013	0852-24-0122
(公財)岡山県健康づくり財団	〒700-0952 岡山市北区平田408-1	086-246-6254	086-246-6258
(公財)広島県地域保健医療推進機構	〒734-0007 広島市南区皆実町1丁目6-29	082-254-7111	082-254-1168
(公財)山口県予防保健協会	〒753-0814 山口市吉敷下東3丁目1番1号	083-933-0008	083-923-5567
(公財)とくしま未来健康づくり機構 [徳島県総合健診センター]	〒770-0042 徳島市蔵本町1丁目10-3	088-633-2266	088-633-1811
(公財)香川県総合健診協会	〒761-8031 高松市郷東町587-1	087-881-4867	087-881-8171
(公財)愛媛県総合保健協会	〒790-0814 松山市味酒町1丁目10-5	089-987-8200	089-987-8250
(公財)高知県総合保健協会	〒780-9513 高知市棧橋通6丁目7-43	088-831-4800	088-831-4921
(公財)福岡県すこやか健康事業団	〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目1-32 天神リバーフロントビジネスセンター2階	092-722-2511	092-722-2563
(公財)佐賀県健康づくり財団	〒840-0054 佐賀市水ヶ江1丁目12-10 佐賀メディカルセンタービル内	0952-37-3301	0952-37-3061
(公財)長崎県健康事業団	〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋986-3	0957-43-7131	0957-43-7139
(公財)熊本県総合保健センター	〒862-0901 熊本市東区東町4丁目11番1号	096-365-8800	096-368-6776
(公財)大分県地域保健支援センター	〒870-0011 大分市大字駄原2892-1	097-532-2167	097-533-6821
(公財)宮崎県健康づくり協会	〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター内	0985-38-5512	0985-38-5014
(公財)鹿児島県民総合保健センター	〒890-8511 鹿児島市下伊敷3丁目1-7	099-220-2332	099-220-2883
(一財)沖縄県健康づくり財団	〒901-1192 沖縄県島尻郡南風原町字宮平212	098-889-6474	098-889-6463

大切なのは、がんにならないような生活習慣・環境を実現すること。
 タバコは肺がんをはじめ、多くのがんを引き起こすだけでなく、
 手術や化学療法、放射線療法など、効果的な治療の妨げにもなります。
 これは、最近急激に増加しつつある新型の加熱式タバコも同じで、
 喫煙が新型コロナウイルス感染症を重症化させるリスクも指摘されています。
 がん以外の疾患も含め、喫煙により年間約13万人、
 受動喫煙により約1万5000人が、その命を失っていると言われる今、
 日本のタバコ対策は世界的に見ても遅れており、早急な対策が必要です。

当協会ではがん予防の中心に「禁煙推進」を掲げてさまざまな活動に取り組んできましたが、
 2018年には禁煙の重要性を広く社会に訴えるため「タバコゼロ宣言」を発表しました。
 多くの人をタバコの害から守るために、今後もタバコゼロ社会の実現をめざして
 禁煙を強く推進していきます。

タバコゼロ宣言



TOBACCO ZERO MISSION
 Tobacco Free 2020 JAPAN
 Tobacco or Health

1. 喫煙者をなくす

すべての喫煙者に対して禁煙支援サービスを提供する

2. 受動喫煙をなくす

すべての人々(喫煙者も非喫煙者も)を受動喫煙から守る

3. 喫煙開始をなくす

すべての子どもたち・大人がタバコを吸い始めない社会をつくる

4. タバコ産業との利害をなくす

すべての協会活動はタバコ産業からの資金提供や協力を受けない

5. 新型タバコをなくす

すべてのタバコ製品は有害性と依存性の観点から規制対象とする

グローバルブリッジとの提携 / 国際会議



タバコゼロ宣言を着実に実践するため、国際的な禁煙推進団体「グローバルブリッジ」と提携し、2018年から禁煙専門家を育成するプロジェクトを開始。公募で選ばれた16団体の禁煙推進活動や禁煙支援の専門家育成をサポートしています。また、2019年10月には国際タバコ病予防学会(TID)の学術集会を福岡歯科大学などと共催。世界約40カ国から医師や行政関係者らが集まり、加熱式タバコなどをテーマに3日間にわたり議論しました。最終日には、健康的な職場の実現をめざして世界保健機関(WHO)が世界で進める「WHO禁煙革命」キャンペーンの日本における発足式も開きました。



禁煙を強く訴える協会制作のポスター
 上・2018年版 下・2019年版

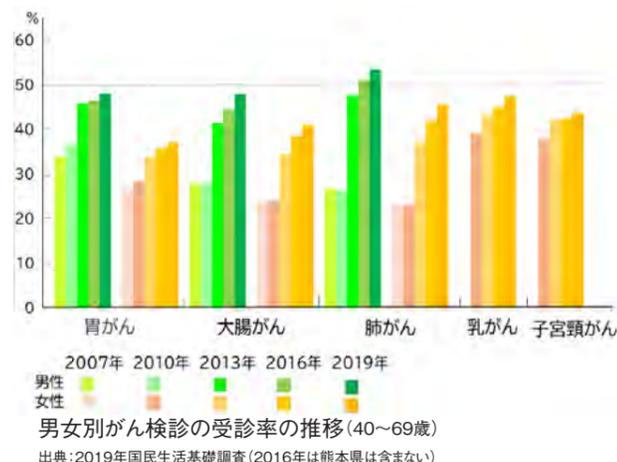
タバコフリーキッズ

タバコの害を次の世代へ引き継がないためには、子どもたちへの教育が重要です。「タバコフリーキッズ」は地元の街に出かけ、喫煙者や非喫煙者にインタビューしたり、路上の吸い殻の数を調べたりしながら、タバコと健康について、子どもたちが自ら考える機会をつくる教育・提言プログラム。これまで神奈川県、東京都、北海道、愛媛県、熊本県、新潟県、岡山県の各都市で実施してきました。今後もタバコのない未来をめざして活動していきます。



日本のがん検診の現状

がんを治すには、早期発見・早期治療が何より重要です。そのためには、定期的ながん検診を受ける必要があります。しかし日本の検診受診率はまだまだ低く、たとえば乳がんや子宮頸がん検診においては、欧米の受診率が70~80%と言われるのに対し、日本は50%にも満たない状況です。また、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年のがん検診受診者が大幅に減り、発見がん数が減る恐れがあることを、支部へのアンケートを元に対がん協会報などで発信し、それを大手メディアが報じました。当協会では、受診率を向上させるため、さまざまな取り組みを行っています。



日本対がん協会グループの検診

日本対がん協会の各地の支部では、胃、大腸、肺、乳房、子宮頸などのがん検診を行っています。これは住民検診の実施機関としては日本最大の規模です。年間でのべ1千万人以上が受診しており、対がん協会発足以来の受診者はのべ3億9000万人以上にのぼります。



2018年度の実績

のべ受診者数 **1106万6125人**

がん発見数 **1万3240 (約0.1%)**

受診率向上のために

検診の大切さを伝える 大腸がんセミナー



日本人がかかるがんでも多い大腸がん。年間15万人がなり、5万人が亡くなっています。この数字は、人口が2.5倍のアメリカとほとんど同じです。高齢化率に差があるとはいえ、日本人のほうがアメリカ人より2.5倍、大腸がん死のリスクが高いこととなります。2019年7月には、鹿児島市で「一緒に学ぼう 大腸がん」と題したセミナーを開催しました。専門医による講演や内視鏡検査のデモンストレーションを行い、200人が来場。希望した54人が後日、検診を受診し、1人の大腸がんが見つかりました。40歳を過ぎたら年に1回の大腸がん検診を欠かさず、要精密検査となったら必ず大腸内視鏡検査を受ける。大腸がんは減らせるがんなのです。



受診のきっかけとなるよう、子宮頸がんと乳がん(マンモグラフィ)の2種の検診無料クーポンも配布

検診現場の課題を議論



全国の支部から職員が参加し、受診者を増やす施策について考える研修会を開催しています。民間シンクタンクから受診者の満足度向上・受診率アップの成功事例について解説を受けたり、「待ち時間の短縮」といった全国の検診現場で共通する課題についてディスカッションしたりするプログラムです。より多くの皆様に積極的、定期的ながん検診を受けていただけるよう、今後も様々な角度からの施策を考えていきます。

新しい検診手法の研究

2016年に設立した検診研究部門では、国立がん研究センターや大学の研究者と一緒に、精度の高い検診の実現を追求しています。血液バイオマーカーによって膵がんの早期発見を目指す臨床研究や、血液中のマイクロRNA(miRNA)によってがんの発見をめざす臨床研究への協力などの取り組みも進めています。

血液バイオマーカーを利用した膵がんの効率的な検診法開発を目指して

日本医科大学教授 本田 一文



鹿児島県枕崎市で実施した実験的膵がん検診

膵がんは死亡率の高い難治がんです。我々は日本対がん協会と協働して膵がんの前がん病変やリスク保因者を、血液検査を用いて囲い込み、さらに精密画像検査で早期膵がんやリスク疾患患者を特定し、早期介入・治療する実験的膵がん検診を鹿児島県、神戸市、札幌市で実施してきました。1人でも多くの治療可能な膵がんを発見し、膵がんが亡くなる人を減らせるよう、実用化を目指して有効性の検証を進めています。本研究は日本医療研究開発機構(AMED)のご支援で進められました。

新型コロナウイルス感染症への対応

日本対がん協会では、新型コロナウイルスの影響で不安を感じるがん患者さんに正しい情報を伝えようと、2020年3月から取り組みを始めています。重症化するリスクが高いといわれるがん患者さんは、何に注意し、どう行動したらよいかを、がんや感染症などの専門医に聞き、動画や記事を公式サイトで順次公開しています。

2020年8月末日現在 公開している主なコンテンツ

<https://www.jcancer.jp/coronavirus>



がん患者さん全般の新型コロナ対策

がん研究会有明病院院内感染対策部 羽山ブライアン副部長

「がん患者さんが感染しないための注意ポイント」

「がん患者さんの感染、重症化のリスク」

「がん治療中の人注意すべきこと、主治医に伝えておいたほうがよいこと」



東京大学医学部附属病院放射線科 中川恵一准教授

「がん検診、可能になれば必ず受けてください」



がん研究会有明病院腫瘍精神科 清水研部長

「がん患者さんの『新型コロナ不安への対処法』3つのステップ」

「心に安定をもたらす具体的な方法と、精神腫瘍科の受診のめやす」



肺がん・抗がん剤治療のリスクと注意点

北里大学病院 佐々木治一郎副院長

「肺がん患者さんの感染・重症化のリスク」

「生活の注意点と、がん検診・精密検診の感染予防」



乳がんのリスクと注意点

聖路加国際病院乳腺外科 山内英子部長(副院長)

「乳がん治療と生活、新型コロナの注意点」

「乳がん治療のオンライン診療」



放射線治療中のリスクと注意点

東京大学医学部附属病院放射線科 中川恵一准教授

「放射線治療中または治療を受けようとする患者さんへ、新型コロナウイルスの注意点」

血液がんのリスクと注意点

東京医科歯科大学医学部附属病院血液内科 坂下千瑞子特任助教

「血液がんと新型コロナウイルス」



喫煙の重症化リスクと注意点

東京都医師会 尾崎治夫会長

「喫煙による感染・重症化リスクと、8つの予防策」



他団体との連携

休眠預金活用事業

金融機関の口座で10年以上出し入れがない「休眠預金」を社会貢献に使う助成金事業の「資金分配団体」に日本対がん協会が選ばれました。助成先として、がん患者の就労支援、AYA世代(15~39歳)や小児のがん患者、希少がん患者の支援、新たながん相談体制の構築などの「がん患者支援事業」を実行する団体を公募しました。25団体が応募し、2020年2月、6団体を選定しました。

公益財団法人 **がんの子どもを守る会**

小児がん経験者の晩期合併症リスクに対する長期フォローアップと受診促進のための啓発活動

認定NPO法人 **キャンサーネットジャパン**

がん患者の性・妊孕性などに関するコンテンツ作成と専門相談体制の構築

一般社団法人 **CSRプロジェクト**

企業内のピアサポーター育成、オンラインコミュニティ活用による中小企業のがん患者就労支援

一般社団法人 **仕事と治療の両立支援ネットブリッジ**

愛知県でのがん患者就労支援、患者カウンセリングと医療・職場の調整モデルの構築

一般社団法人 **日本希少がん患者会ネットワーク**

サミットなどを通じた産・官・学・患者会のネットワーク強化、相談支援・専門施設間連携促進

NPO法人 **日本キャリア開発協会**

患者カウンセリングと職場復帰に向けた中小企業での就労体験モデルの構築

東京マラソン2021の寄付先団体に



2021年3月開催予定の東京マラソン2021の「チャリティ寄付先団体」に選ばれました。この事業を通じていただいた寄付金は、患者支援などに活用させていただきます。

寄付受付期間:2020年7月3日~2021年3月31日

日本対がん協会は、東京マラソン2021チャリティ事業の寄付先団体です。
東京マラソン2021チャリティ公式ウェブサイト

<https://www.marathon.tokyo/charity/>

がん患者団体サポート助成金

がん患者やその家族の支援を目的とする団体へ活動助成を行っています。患者・家族に寄り添い、不安を和らげるためには患者団体などのサポートが欠かせません。2020年度は、11団体を選んで活動助成を行います。

【対象団体】りんりの会(乳がん) NPO法人こどものちから(小児がん) 膵臓がん患者と家族の集い(すい臓がん) 若年性乳がんサポートコミュニティPink Ring(乳がん) 認定NPO法人ジャパン・カインドネス協会(全がん) ふらっとひろばumi(全がん) あけぼの兵庫(乳がん) 特定非営利活動法人GISTERS(消化管間質性腫瘍) 肉腫(サルコーマ)の会 たんぽぽ サバイバーナースの会「びあナース」(全がん) Tokyo OT Brain Tumor Network(原発性脳腫瘍)

リレー・フォー・ライフ(RFL)とは

がん患者やその家族を支援するために、地域全体でがんに向き合うチャリティ活動です。各地でがん患者、支援者の方々が、交代で夜通し歩き、寄付を募ります。この活動は1985年に、アメリカの腫瘍外科医ゴルディー・クラットさんが、がん患者を支援するため、24時間走ったことから始まりました。今では世界30か国、約4500か所で開催されており、日本では当協会と各地域の実行委員会が協力して、2006年、つくばでのプレ開催から活動しています。新型コロナ禍でリアルなイベント活動が大幅な縮小を余儀なくされている2020年度は、さまざまなバーチャル・オンライン企画で各地の実行委員会を支援し、RFLに関わる全国の皆様の一層の連帯を図っています。



リレー・フォー・ライフのミッション

使命

Save Lives

テーマ

Celebrate

祝う

Remember

しのぶ

Fight Back

立ち向かう



室蘭(北海道)

リレー・フォー・ライフの1日

昼

夜

朝

昼

開会式
サバイバースラップ



リレーイベント最初の1周は「サバイバースラップ」と呼ばれサバイバーの方だけが歩きます。がん告知を乗り越え、この日を迎えられた事を祝福します。

ルミナリエ
セレモニー



ルミナリエに書かれたメッセージがキャンドルの光で浮かび上がります。がんで亡くなった方々をしのび、がんに向き合っている人々を励まします。

オールナイト
ウォーク



歩き続けた暗い夜、夜明け前の空が深い紫色に染まります。希望の光が会場を包み込み、共に朝を迎えられた喜びを分かち合います。

ゴール
閉会式



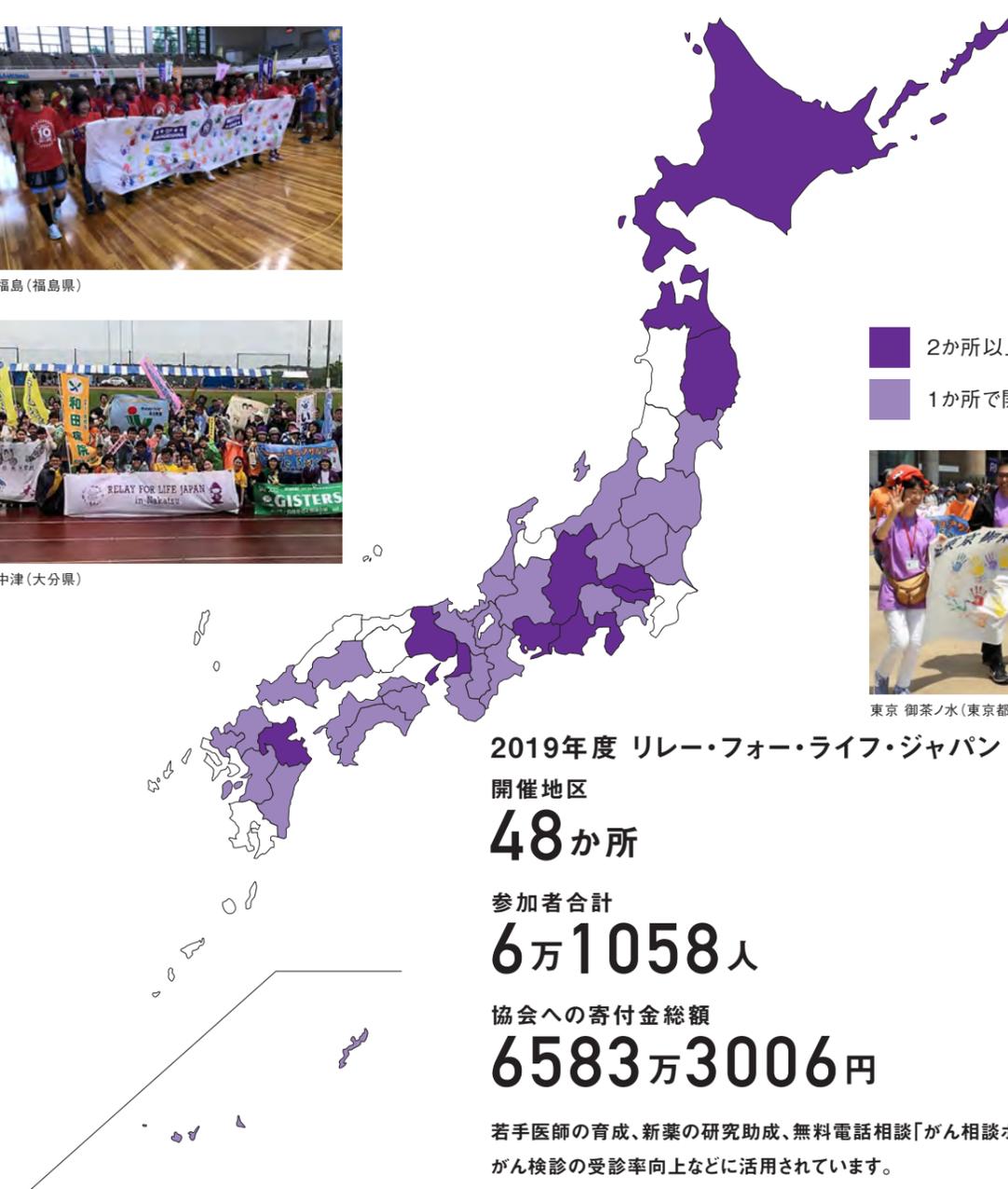
全ての参加者を讃えます。1年間を通して行うリレー・フォー・ライフのチャリティ活動。次の1年への想いを新たにします。



福島(福島県)



中津(大分県)



東京 御茶ノ水(東京都)

2019年度 リレー・フォー・ライフ・ジャパン

開催地区

48か所

参加者合計

6万1058人

協会への寄付金総額

6583万3006円

若手医師の育成、新薬の研究助成、無料電話相談「がん相談ホットライン」、がん検診の受診率向上などに活用されています。

創意工夫で初開催を実現 たくさんの笑顔に会えた喜び

2019 RFLJ三重実行委員会 事務局長 山原 英子



「こんな素敵なイベントが各地で行われているらしいよ。三重県でも開催したいと思うのだけど」。仕事の先輩からこう切り出されたのが始まりでした。実行委員会を立ち上げたものの、会場が決定したのは開催予定日の3か月ちょっと前。今から何をすればいいのかわからず焦りしかありませんでしたが、実行委員で役割分担をし、各々が創意工夫をし、チーム、ボランティア説明会では改良すべき点を提案してもらい、ベストな状態で初開催にこぎつけました。RFLJ三重のシンボルマークである三つの笑顔、三笑(みえ)がたくさん見られて本当に良かった。大変でしたが、本当に素晴らしいRFLJ三重だったと思います。真剣に取り組んだからこそその反省点も多数出ました。また、熱くリレーを行えそうです。

がんサバイバー・クラブとは



がんサバイバーとその家族を支援するため、2017年に発足した事業です。一度でもがんと診断されたことのある人の「知りたい」「治りたい」「普通の生活がしたい」という思いや、家族や大切な人を「支えたい」という気持ちをサポートします。ウェブサイトやSNSを通じて信頼できる情報を提供したり、患者どうしが実際に会って交流できるイベントなどを定期的で開催したりしているほか、2019年には「サバイバーネット」「がんサバイバーキッチン」という2つの新しいプロジェクトもスタートしました。

www.gsclub.jp

がんに関するニュース配信

年間**800**件以上

全国の患者会情報の掲載

423件 (2020年8月現在)



情報発信

がん関連注目ニュース

スタッフがほぼ毎日、がんに関するニュースを厳選し、ホームページやSNSを通じて年間800本以上を配信しています。

多彩な連載陣

がんサバイバーでフォトグラファーの木口マリさんによるサバイバー視点のエッセイに加え、都立駒込病院名誉院長で日本対がん協会評議員の佐々木常雄先生による「灯をかがげながら」、がん化学療法看護認定看護師・かみうせまゆの「忘れえぬ患者さんたち」、闘病記出版のプロ、星湖舎の金井一弘さんがお勧めの闘病記を紹介する「読み逃したくない1冊」などを好評連載中です。

全国の仲間とつながる サバイバーネット

がんを告知された方やそのご家族ら支える人たちに向けたSNS「サバイバーネット」を運用しています。無料で簡単に登録できて、プロフィールや病歴、体験談、患者会の情報などを検索することで、全国の仲間とつながることができます。



約650件の治療情報から自分が参加可能なものを検索できる機能を2020年5月に公開しました。がんの種類や地域、対象年齢を入力することで、参加可能な治療を絞り込むことができます。



患者・家族のサポート

がんサバイバーカフェ



「知っているようで知らない治験・臨床試験」「働く相談窓口を知ろう」など、毎回患者・家族の関心が高いテーマを取り上げ、和やかな雰囲気の中で、参加者どうしが交流しながら学べる会を定期的に開催しています。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中

がんサバイバーキッチン



味を感じなくなる、食欲がなくなる、料理をする気が起きない……がん治療中の方が抱えている、食事についての悩みをサポートするため、ユーザーがレシピを投稿し、管理栄養士が監修の上、公開するサイトを立ち上げました。

この事業は株式会社「おいしい健康」と共同で実施しています。

www.gsclub.jp/recipes

働く仲間同士で支えあう ピア・サポート

がんのピアサポーター研修の手法を用いて、企業の管理職を対象に、がんのリテラシー向上を共に考える研修カリキュラムを開発しました。2019年11月には朝日新聞社と共催で「ネクストリボン管理職研修」として、役員・管理職に研修を実施しました。医師や患者の講演のほか、グループワークを通して「がんと就労」への理解を深めていただきました。

ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ



がん患者支援団体が一堂に会するユニークなイベント、ジャパンキャンサーサバイバーズデイ(JCSD)。毎年6月の第1日曜日に開かれ、2020年で3回目を迎えるはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で開催を断念せざるを得ませんでした。そのため、予定されていたがん専門医や体験者の講演を動画に収録して8月からウェブ配信を始めました。

石黒めぐみ 東京医科歯科大学准教授

「がん」を知ることから始めませんか？
～「がん」の基礎知識・超!入門編～

中釜齊 国立がん研究センター理事長

がんに関するニュースの読み解きポイント
～抗がん剤は毒？ 敵？ がんの薬は進化しています～

分田貴子 東京大学附属病院がん相談支援センター副センター長

あなたらしい人生を送るために



がん相談ホットラインとは



がんになるとさまざまな悩みが出てきます。がんと診断されたショックや不安、「これからどうしたらいいのかわからない」といった患者・家族の悩みをお聞きするのが、がん相談ホットラインです。経験豊かな看護師・社会福祉士の相談員が、相談者の気持ちに寄り添いながらこれからのことを一緒に考え、次の一步を踏み出せるように支援します。予約は不要。ご相談は匿名でお受けしております。

がん相談
ホットライン

03-3541-7830

毎日(祝日・年末年始を除く) 10~18時

2019年度の実績

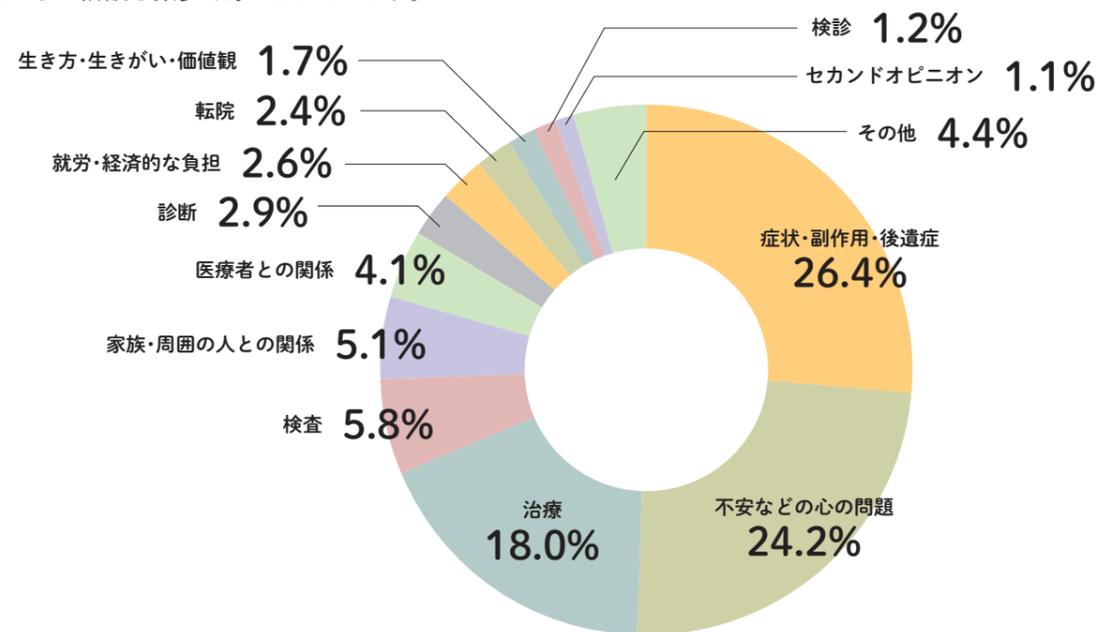
相談件数は1万件以上で、2回以上利用した人は約47%にのびります。

相談内容は体のこと、心のこと、暮らしに関わること、がんとの向き合い方やこれからの生き方など、多岐にわたっています。

2020年春以降、新型コロナウイルス感染症の広がりを受けて「感染や重症化の不安・恐怖」「治療や検査をどうしたらいいか」といった相談も数多く寄せられています。

2019年度の相談件数

1万1098件



ホットラインを利用された方の声

丁寧な対応で落ち着いた

がんと診断された時、再発した時など、節目ごとに電話をしてきました。インターネットでも調べますが、ホットラインの方が丁寧に対応してくださるので気持ちが落ち着きます。

自分の選択に自信を持てた

ホットラインで話をしてすっきりしました。人生の転機は、いつも自分で納得して自分で決めてきたことを思い起こし、自分の選択に自信を持つことができました。

専門医によるがん無料相談



専門医によるがん無料相談は、当協会独自の取り組みです。国立がん研究センターのOBや、がん研有明病院の医師が、電話または面接でがんに関する相談をお受けしています。診療は行いませんが、患者・家族のさまざまな悩みに医学的な知識と経験をもとに対応しています。

専門医による
がん無料相談
予約窓口

03-3541-7835

月～金(祝日・年末年始を除く) 10~17時

社会保険労務士による「がんと就労」電話相談

2016年12月にがん対策基本法が改正され、企業ががん患者の雇用継続への配慮に努めることが明記されたことを受け、がん患者の就労支援の動きが広がっています。しかし、がんと診断されると、「仕事をどうしよう」「雇用は継続されるか」「休職中の保障はあるか」など様々な不安が生じます。なかには、働くのは無理だろうと誰にも相談せずに退職してしまう方もいます。当協会では、社会保険労務士が、がんと診断された時の職場への伝え方や治療に合わせた働き方、利用できる制度や経済的なことなどについて相談をお受けしています。



[相談員]
特定社会保険労務士：
近藤 明美氏

社会保険労務士による
「がんと就労」電話相談
予約窓口

03-3541-7835

月～金(祝日・年末年始を除く) 10~17時



ピンクリボンフェスティバルとは



PostPet™

ピンクリボンフェスティバル
オフィシャルメッセージャー モモ妹

2020年で18回目の開催となる「ピンクリボンフェスティバル」は、乳がん検診の大切さを伝え、患者を支えることを目的とした日本最大級の啓発活動です。ここ数年、著名な方々が勇気をもって乳がんを公表されたことにより、乳がんへの関心はかつてないほど高まっています。しかし、まだまだ定期的に検診を受ける人は少ないのが現状です。乳がんを命を落とす方を一人でも減らせるよう、今後も、さまざまなアプローチでメッセージを伝えていきます。

協賛企業

- 麒麟ビバレッジ** **富国生命保険**
SOMPOひまわり生命保険 **ファミリーマート** **ホクト** **ユニ・チャーム**
ジュピターショップチャンネル **スコラゲン** **住友生命保険** **セコム損害保険** **大樹生命保険**
大鵬薬品工業 **中外製薬** **トライ・インターナショナル** **日本生命保険**
カネカ **丸富製紙** **ジニエブラ**

シンポジウム・セミナー

毎年10月のピンクリボン月間に合わせて開催しています。2020年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、シンポジウムと乳房再建セミナーを公式サイトで動画配信することにしました。シンポジウムでは、ウィズコロナの時代、どのように乳がん向き合っていくかをはじめ、最新の治療情報、遺伝性乳がんなど、関心の高いテーマを取り上げています。また、20~30歳代の若い女性に向けて乳がんとブレストケアについて正しい知識を伝えるオープンセミナーも開催しています。

www.pinkribbonfestival.jp



ピンクの日



毎月19日を「ピンクの日」とし、セルフチェックを推奨するキャンペーンも展開しています。乳がんは自分で見つかることのできる数少ないがんです。定期的なセルフチェックをつづけるうちに自分の乳房の普通の状態がわかり、異常を早く見つけれられるようになります。

デザイン大賞



乳がん検診の大切さを呼びかけるポスターのデザインとコピーの2部門でコンテストを行っています。2020年にはコピー・デザイン部門あわせて約2万3850点の応募がありました。

スマイルウォーク

参加者がピンクのグッズを身に着け、東京と神戸の街をウォーキングすることで乳がん検診の受診を呼びかけるイベントです。

*2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



ピンクリボン
フェスティバル2020
シンポジウム ゲスト
だいた ひかる さん
お笑い芸人



1975年埼玉県東松山市出身。「どーでもいーいですよー」の持ちネタで知られるピン芸人。R-1ぐらんぷり初代チャンピオンとなりブレイクする。バラエティ番組等数多くのメディアで活躍。2016年、ステージ2Bの乳がんを診断され右乳房の全摘手術をする。しかし、全摘した方の右胸にしこりが見つかり、2019年2月、乳がんの再発を公表。現在は治療をしながら仕事を継続し、テレビや舞台など多方面で活躍している。

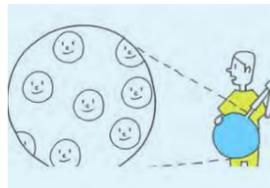
がん教育

がんについて正しく知ることは、大人だけでなく、子どもにとっても重要です。2021年度からは中学校で、22年度からは高校でがん教育が全面実施されます。当協会では国の動きに先駆け、2009年から「がん教育基金」を設けて小・中・高校生へのがん教育に取り組んできました。専門医が監修した、がんについての教材動画を目的に合わせて4種制作。学校など教育現場に提供しているほか、出張授業への講師派遣を支援したり、教員向けの教育研修会に協力したりしています。教材動画の一部は耳の不自由な方々のための手話・字幕入り版も作り、インターネット上で公開しています。今後、協会内のがんサバイバー（がん経験者）を、がん教育の外部講師として派遣するための準備も進めています。

提供しているがん教育の教材DVD



がんちゃんの冒険
がんと生活習慣の関わり、検診について学べるアニメーション。



がんって何？ いのちを考える授業
授業に使いやすいよう1話1分で構成したシンプルなムービー。



Dr.中川のよくわかる！ がんの授業
クイズ形式で、わかりやすくがんを学べるアニメーション。



Dr.奥仲の 熱血出前授業
タバコの害など、がん予防についての出張授業を映像化。

出張授業



出張授業の講師を務めるがんサバイバーの協会職員

タバコを吸うことで自分も周りの人もがんになりやすくなることを知り、タバコを吸っている両親に教えてあげたいです。

出張授業を受けた子どもたちの声

がんはかかったら治らないものものだと
思っていたので、
早期発見で治すことができるものだと
知って安心しました。

がん征圧月間

毎年9月は「がん征圧月間」です。当協会は1968年からがん征圧月間に「がん征圧全国大会」を開催し、全国の対がん協会グループ支部や患者団体の関係者が集まって最新情報の共有や意見交換をしています。2019年に愛媛県で開催された第52回がん征圧全国大会には約1300人が参加し、朝日がん大賞と日本対がん協会賞の表彰、食道がんを経験した作家・作詩家のなかにし礼さんの記念講演などが行われました。



2020年度 がん征圧スローガン

いつ受ける？ 声かけしよう がん検診

毎年全国のグループ支部から募集して「がん征圧」をテーマにしたスローガンを作成しています。今年は「大切ながん検診を先延ばししないようみんなで周囲に声をかけよう」と呼びかける作品が選ばれました。啓発活動や新聞広告など、さまざまな形で活用されます。

啓発ポスター・リーフレットの制作、提供

「がん征圧ポスター」や「禁煙啓発ポスター」を約5万部ずつ、全国で掲出しました。「がん征圧ポスター」のデザインは高校生以上の学生から公募した作品です。このほか、がん検診の啓発リーフレットや、女性特有のがんに関するリーフレット、がんの予防や検診についてわかりやすく解説した「がん読本」も制作し、職場や自治体などで活用されています。



2020年度 がん検診啓発リーフレット



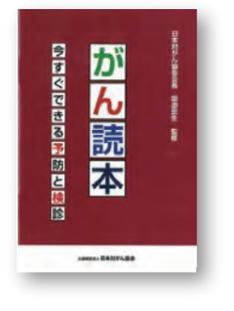
2020年度 乳がん啓発リーフレット



2020年度 がん征圧ポスター



2020年度 禁煙ポスター



2019年度 がん読本

がん治療専門家の育成

がん治療をますます進歩させるためには、広い視野を持ち、患者に寄り添える優秀な医師の育成が欠かせません。日本での臨床試験を推進し、地域のがん医療に貢献できる若手医師を育成するため、リレー・フォー・ライフ・ジャパンに寄せられた寄付金をもとに、「リレー・フォー・ライフ マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞」を設け、1人250万円の奨学金を贈っています。受賞者は、世界的に有名ながん専門機関のテキサス大学MDアンダーソンがんセンターやシカゴ大学医学部で1年間、留学研修を受けることができます。

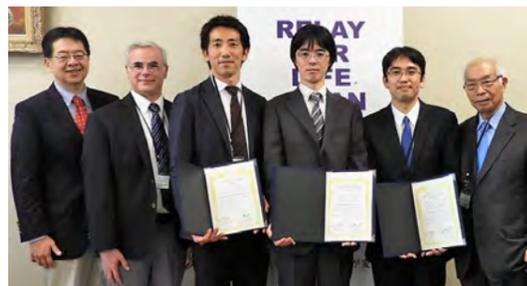
受賞者の方々



2019年度受賞者 2名

国立がん研究センター東病院呼吸器内科
宇田川 響さん (左から4人目)
〈MDアンダーソンがんセンター〉

東京医科歯科大学大学院呼吸器外科学
瀬戸 克年さん (左から3人目)
〈MDアンダーソンがんセンター〉



2018年度受賞者 3名

東京医科歯科大学医学部附属病院 血液内科
秋山 弘樹さん (左から4人目)
〈MDアンダーソンがんセンター〉

日本赤十字社和歌山医療センター 血液内科
島津 裕さん (左から5人目)
〈MDアンダーソンがんセンター〉

東北大学病院 乳腺・内分泌外科
宮下 穰さん (左から3人目)
〈シカゴ大学医学部〉

研修機関

テキサス大学 MDアンダーソンがんセンター

全米No.1と評されているがん専門医療施設で、がんの治療、研究、教育、予防を専門とする大規模がんセンターです。基礎と臨床が融合した臨床研究を推進し、世界のがん医療をけん引しています。

シカゴ大学医学部

1927年の創立以来、基礎と臨床の融合に重点がおかれ、ノーベル医学・生理学賞を12人輩出した全米屈指の大学医学部です。



テキサス大学 MDアンダーソンがんセンター
腫瘍内科

上野 直人 教授

世界中からトレーニングに来ている人々とネットワークを作り、研究へのフィロソフィーを学び、より患者中心の研究をし、最終的に患者の苦しみを取り除くことにつなげてほしい。

がんの研究助成

アメリカではリレー・フォー・ライフに寄せられた寄付金によって、白血病などの新薬「グリベック」が開発され、治療を大きく前進させました。日本でも、当協会が設立した「リレー・フォー・ライフ・ジャパン プロジェクト未来」によって、特に、がん患者とその家族を支援する研究を助成しています。新しい治療や新薬の開発、また患者のクオリティー・オブ・ライフを改善させる研究について、1件あたり最大300万円を助成。8回目となる2019年度には86件の応募があり、新たながん免疫療法開発や診断システムの開発、AYA世代(15~39歳)がん患者の交流サロン開発研究など19件が採択されました。



医療従事者向け研修会の開催



がんを早期発見するためには、検診の受診を促すと同時に、検診の精度を上げることが非常に大切です。2019年度も診療放射線技師や臨床検査技師を対象にマンモグラフィ撮影技術講習会、乳房超音波技術講習会を開催し、技術指導や認定試験を実施しました(保健師・看護師研修会、診療放射線技師研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)。受講生は全国の検診現場で活躍しています。

ご寄付について

私たちの活動は、みなさまからのご寄付に支えられています。

いただいたご寄付はすべて、がん征圧のために使わせていただいております。

がんで苦しむ人、悲しむ人をなくすために、あたたかいご支援をお願い申し上げます。

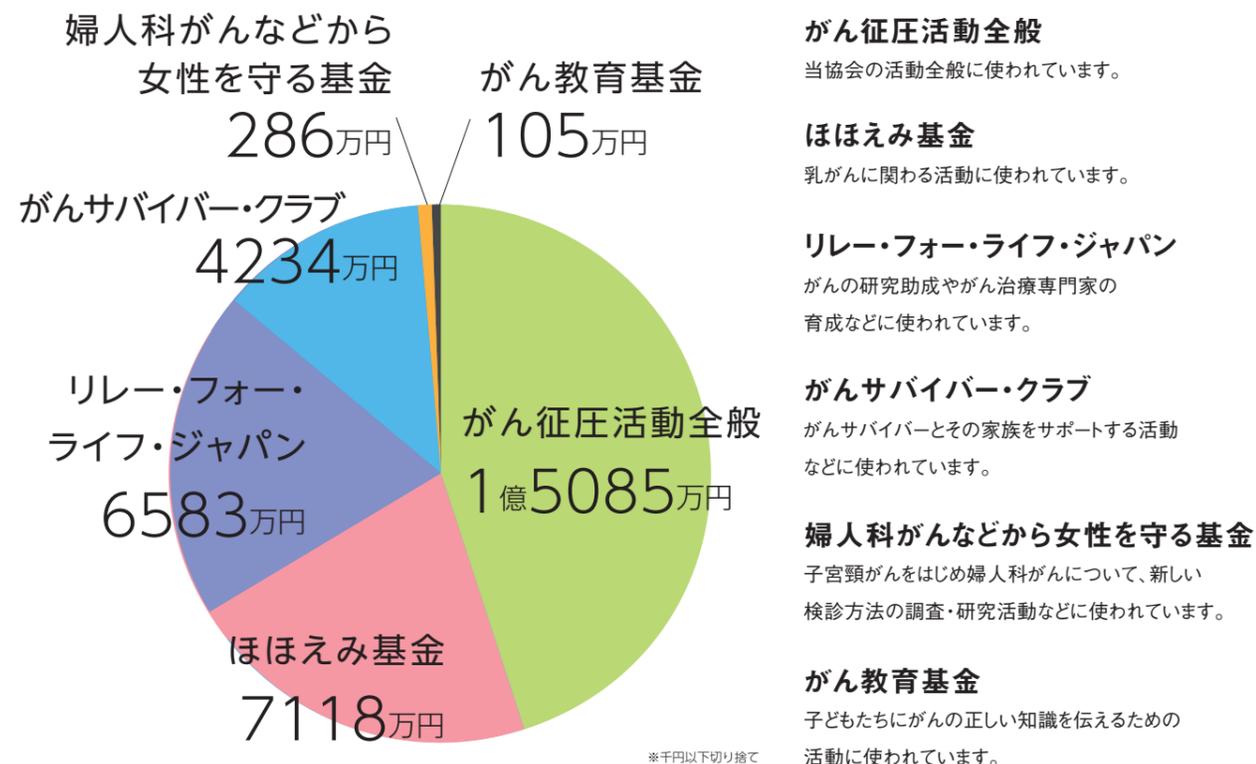
2019年度寄付金総額

3億3414万4414円

寄付金の内訳

法人のご寄付:76.89%、個人のご寄付:23.11%

寄付金の主な使いみち



- がん征圧活動全般**
当協会の活動全般に使われています。
- ほほえみ基金**
乳がんに関わる活動に使われています。
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン**
がんの研究助成やがん治療専門家の育成などに使われています。
- がんサバイバー・クラブ**
がんサバイバーとその家族をサポートする活動などに使われています。
- 婦人科がんなどから女性を守る基金**
子宮頸がんをはじめ婦人科がんについて、新しい検診方法の調査・研究活動などに使われています。
- がん教育基金**
子どもたちにがんの正しい知識を伝えるための活動に使われています。

ご寄付はこちらへ

がん征圧活動全般だけでなく「ほほえみ基金」「婦人科がんなどから女性を守る基金」「がん教育基金」の3つの基金の中から、あなたが支援したいと思う活動に使いみちを指定することもできます。

〈がん征圧寄付〉 活動全般へのご支援

がん征圧活動全般

口座名はいずれも「公益財団法人 日本対がん協会」です。

みずほ銀行
銀座支店(店番号035)
普通1003855

三菱UFJ銀行
京橋支店(店番号023)
普通1718240

三井住友銀行
丸ノ内支店(店番号245)
普通0518150

ゆうちょ銀行
00180-1-5140

※「がんサバイバー・クラブ」と「リレー・フォー・ライフ」の活動を指定してご寄付される場合は寄付申込書を事前にお送りいただき、上記4つの口座のいずれかにお振り込みください。

〈各種基金〉 特定の活動へのご支援

ほほえみ基金



婦人科がんなどから女性を守る基金



がん教育基金



口座名はいずれも「公益財団法人 日本対がん協会」です。

みずほ銀行
銀座支店(店番号035)
普通2418773

三菱UFJ銀行
京橋支店(店番号023)
普通0067244

三菱UFJ銀行
京橋支店(店番号023)
普通0067257

ゆうちょ銀行
00180-1-5140

※ ゆうちょ銀行から振り込まれる場合は、寄付を希望される基金名を備考欄にご記入ください。

〈オンライン寄付〉 オンラインでのご寄付はこちらから

がん征圧
活動全般ほか



がんサバイバー・
クラブ



ご寄付をお考えの方へ

個人の方のご寄付

年間合計寄付金が2000円を超える場合は、確定申告を行うことによって所得税の控除が受けられます(年間総所得の40%まで)。またご希望の方は、朝日新聞地方版紙面にお名前、寄付金額を掲載させていただきます。

● ウェブサイトからの寄付

日本対がん協会のウェブサイト(www.jcancer.jp)内の「オンライン寄付のページ」からお手続きください。

● 継続的な寄付

クレジットカード決済により、毎月あるいは毎年、定額のご支援を続けていただけます。金額は1000円から設定できます。

● 金融機関へのお振り込み

当協会のウェブサイトからダウンロードした寄付申込書をFAXまたは郵便でお送りいただいた上で、お近くの金融機関よりお振り込みください。ご希望の方には手数料が無料となる郵便振替用紙をお送りします。

● つながる募金(スマートフォンからの寄付)

SoftBankスマホユーザーの方は2タップで簡単に寄付できます。それ以外のキャリアの方はクレジットカードでのお支払いが可能です。



● バリューブックス「チャリボン」www.charibon.jp

読み終えた本、DVDなどをバリューブックスに送り、買取相当額を寄付できます。ISBN(国際標準図書番号)があり、かつ2010年以降出版された書籍が対象です。

法人の方のご寄付

日本対がん協会のウェブサイト内に、法人専用の「寄付申込書」をご用意しておりますのでご利用ください。ご寄付をいただいた法人様は、寄付金の全額を当該決算期の損金に算入することができます。また朝日新聞地方版紙面へ法人名、寄付金額を掲載させていただくほか、一定額以上のご寄付の場合は当協会のウェブサイトおよびこの冊子にもご名義を掲載いたします。

○ ご寄付の流れ

「寄付申込書」をお送りいただき、お近くの金融機関よりお振り込みください。ご入金確認後、領収書とお礼状をお送りします。

○ ご支援の方法

● 収益の一部の寄付

企業の収益の一部をご寄付いただく方法です。

● 商品やサービスの売りに連動した寄付

商品、サービスによる売上げの一部を、販売数に応じてご寄付いただく方法です。

● ピンクリボンのマークを利用したプロモーション

一定額以上のご寄付により、ピンクリボンマークを商品パッケージなどに使い、消費者にアピールすることができます。

● 従業員参加型の寄付

従業員から寄付を募り、企業が同額の寄付を上乗せするマッチングギフト、福利厚生制度の中に寄付を含む方法、イベントでのチャリティグッズ販売による寄付など、さまざまな方法で従業員の方にもご参加いただけます。

● 商品の無償提供

当協会が開催するイベントなどで使用できる商品などをご提供ください。

● 顧客や株主との連動

株主優待やマイレージなどの顧客サービス・イベントなどを通して、顧客や株主とともに当協会の活動にご協力いただけます。

● 協働事業の実施

自社の製品やテクノロジーを活用して、当協会の活動にご協力いただく方法です。

● 募金箱設置

店頭などに募金箱を置いてご支援いただく方法です。募金箱の貸し出しも行っています。

遺産のご寄付

遺言によるご寄付(遺贈)、相続財産のご寄付、お香典・お花料からのご寄付をお受けしております。

● 遺贈

「遺贈」とは、遺言書をつくり、遺す財産を相続人以外の人や団体に寄付することです。一部またはすべての財産の受取人として、当協会をご指定いただいた場合は、ご遺産をがん征圧活動のため、大切に使用させていただきます。ご寄付いただいた額について、相続税はかかりません。



● 相続財産のご寄付

故人の遺志、ご遺族の意思によって、相続人の方が遺産の一部を寄付するという方法です。当協会にご寄付いただいた場合、期限内(相続開始後10か月以内)に領収書を添えて相続税の申告を行えば、寄付した財産は相続税計算上の財産額から控除されます。またご寄付をされた相続人の方は、所得税の寄付金控除も受けられます。

● お香典・お花料からのご寄付

葬儀の際にいただいたお香典・お花料に対して、返礼品をお渡しする代わりに、社会貢献として寄付をするという方法があります。亡くなった大切な方の想いを叶えるだけでなく、参列された方々に故人の気持ち、人柄を伝えることもできます。日本対がん協会では、お香典・お花料をいただいた方へ、ご寄付の趣旨をきちんと伝えるためのお礼状をご用意しています。相続税の控除対象にはなりませんが、ご寄付をされたご遺族の方は、所得税において寄付金控除が受けられます。

● 不動産・株式などの寄付

不動産や株式など現物による遺贈のご相談も承っております。不動産や株式などの遺贈に伴って発生する税については当協会が負担します。ただし山林、田畑や古家など換価が難しいものが含まれるなどの理由で、遺贈をお受けできない場合もあります。

遺贈に関する資料は

右のQRコードからご請求ください。



〈ボランティアという支援〉

ご支援の形は、寄付ではありません。当協会の活動を、ボランティアという形で支援して下さる方も多くいらっしゃいます。ご興味をお持ちの方はoffice@jcancer.jpまでお問い合わせください。

ご寄付・ボランティアに関するお問い合わせ

03-3541-4771 受付時間: 平日10時~17時

くわしくは→ www.jcancer.jp/donation

ご支援いただいている法人のみなさま

日本対がん協会の活動は、みなさまから寄せられたご寄付によって支えられております。

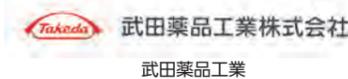
今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

特にご支援をいただいている法人の皆様

(五十音順)

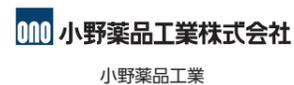
Dr. Keiko Miwa Fund

Dr.Keiko Miwa Fund



朝日新聞

朝日新聞社



多くの法人のみなさまにご寄付いただいています。

(五十音順)

あずさ監査法人

アフラック生命保険

アルフレッサ ファーマ

イトーキ

MSD

大分大山町農業協同組合

カーブスジャパン

キューピー

サノフィ

JTB

シスメックス

ジャガー・ランドローバー・ジャパン

シャルレ

ジュピターゴルフネットワーク

青森朝日放送

朝日広告社

朝日新聞出版 医療健康編集部

朝日新聞総合サービス

朝日ビルディング

アステラス製薬

アッヴィ

アナスタシアミアレ

有馬芳香堂

スタージュエリーブティックス

生命保険協会

セルジーン

第一三共

高島屋

ディノス・セシール

デルタ航空

電通

博報堂DYホールディングス

ハッピージャパン

ホフト

前田建設工業

ロシュ・ダイアグノスティックス

ベックマン・コールター

アラハタ

イーウェル

EH

イズミ車体製作所

伊勢半グループ

一の宮カントリー倶楽部

I Z A

ヴァンドームヤマダ

栄研化学

ご支援いただいている法人のみなさま

エーザイ
エスシーツー
SGホールディングス
愛媛朝日テレビ
エフ・ジェイ ホテルズ
MNC New York
エレクトアー
おいしい健康
大塚製薬
鳳商事
荻野屋
オリエントコーポレーション
尾張車体工業
加賀電子
鹿児島放送
神奈川県立がんセンター
カナミックネットワーク
カネカ
画伯の絵画教室
川場リゾート
関西スーパーマーケット
キャノン
九州がんセンター
キューソー流通システム
共栄会保険代行
京セラ
グランドニッコー東京
グローウィング
京成自動車工業
慶友会吉田病院
国際カラーインテリジェンス協会
国際女性支援協会
コットン・ラボ
埼玉新聞社
サクマ製菓

さくらケーシーエス
サクラファインテックジャパン
サトーホールディングス
ザ・ビッグスポーツ
サミー
さをりひろば
三栄製薬
三協印刷
滋賀レイクスターズ
資生堂
資生堂 花椿基金
シミックヘルスケア・インスティテュート
社会保険出版社
蛇の目ミシン工業
ジャパン・カインドネス協会
秀和会 秀和総合病院
信託協会
新潮社
鈴乃屋
スリーボンド貿易
全国銀行協会
全国化粧品小売協同組合連合会
早期胃癌検診協会
ソニー生命保険
第一生命保険
中央労働金庫 横浜支店
中外製薬
テレビ朝日
東京都医師会
東京特殊車体
東京東信用金庫
東京リボン
東邦薬品
東和薬品
豊島

NAOS JAPAN
中北薬品
中島董商店
長野朝日放送
長野県労働金庫
名古屋テレビ放送
成田塗装
新潟県労働金庫
日進中部
日清製粉グループ本社
日本イーライリリー
日本ヴェルテック
日本化薬
日本証券業協会
日本ネイリスト協会
日本フィルコン
日本薬剤師会
ニューヨークライフ・インベストメント・マネジメント・アジア・リミテッド
ハーゲンダッツ ジャパン
ハローデイ
パンジー
パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
ビーエス朝日
日立保険サービス
ピンクリボンチャリティゴルフ実行委員会
ファイザー
フォーク
富国生命保険
藤井隆広クリニック
富士電機ITソリューション社員一同
扶桑薬品工業
ブリストル・マイヤーズ スクイブ
プロメトリック
ベストウェイ
ヘルスビューティー

法研
ポートルース桐生
北海道キリンビバレッジ
北海道テレビ放送
松屋
マブチモーター
まほろば総合保険
みずほフィナンシャルグループ
三井住友銀行
三井住友信託銀行
三菱UFJインフォメーションテクノロジー
三菱UFJ信託銀行
三ツ星ベルト
緑の風ヘルスサポートジャパン
南生協病院
三輪塗装
ムラコシホールディングス
メディカルユーアンドエイ
メニコン
ヤフー
山形テレビ
山星屋
ユニ・チャーム
ヨシダ印刷
ライフカード
琉球朝日放送
良品計画
ルックホールディングス
レオパレス21

日本対がん協会 役員・評議員

代表理事	会長	垣添 忠生	元国立がんセンター総長
代表理事	理事長	後藤 尚雄	朝日新聞社顧問
	常務理事	石田 一郎	日本対がん協会業務執行理事
	常務理事	佐野 武	がん研究会有明病院 病院長
	常務理事	中釜 斉	国立がん研究センター理事長
	理事	安斎 隆	東洋大学理事長、セブン銀行特別顧問
	理事	今村 聡	日本医師会副会長
	理事	金井 洋	生命保険協会副会長
	理事	山本 尚美	資生堂執行役員クリエイティブ本部長・社会価値創造副本部長
	理事	渡辺 雅隆	朝日新聞社代表取締役社長
	監事	清水 隆	朝日新聞社執行役員財務担当兼財務本部長
	監事	杉浦 文彦	公認会計士

評議員	アグネス・チャン	歌手・タレント
	梅田 正行	朝日新聞社常務取締役
	岸本 葉子	エッセイスト
	斎藤 博	青森県立中央病院 医療顧問
	坂下 千瑞子	東京医科歯科大学 血液内科特任助教
	佐々木 常雄	都立駒込病院 名誉院長
	中川 恵一	東京大学医学部附属病院 放射線科准教授
	野田 哲生	がん研究会がん研究所 所長
	藤澤 武彦	ちば県民保健予防財団理事長
	松浦 成昭	大阪国際がんセンター総長、大阪対がん協会会長
	森 昌平	日本薬剤師会副会長
	山口 建	静岡県立静岡がんセンター総長
	山根 則幸	予防医学事業中央会専務理事
	山本 秀樹	日本歯科医師会常務理事

(敬称略・五十音順 2020年8月現在)

がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい



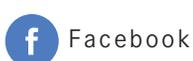
私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

お問い合わせ先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング9階
電話: 03-3541-4771(平日10時~17時)

www.jcancer.jp



公式サイト



Facebook



Twitter

